

# 厚木基地を取り巻く現状 空母艦載機の 移駐と厚木基地

長年にわたり市民に甚大な騒音被害をもたらしてきた空母艦載機について、今年3月、すべての空母艦載機部隊の岩国基地への移駐が完了しました。今号では、移駐後の空母艦載機の運用や騒音状況、厚木基地に起因するさまざまな課題についてお伝えします。

## 空母艦載機の移駐が完了

1973(昭和48)年の米空母ミッドウエーの横須賀入港以来、その艦載機が厚木基地に飛来したことで、市民は長年にわたり甚大な騒音被害や航空機事故への不安など多大な負担を強いられてきました。そうしたことから、市では、大和市委策協議会の活動などを通じ、騒音被害の抜本的解消に向けた取り組みを進めてきたところです。夜間連続離着陸訓練(NLP: Night Landing Practice)や空母出港後の深夜の飛行など、市民生活に多大な影響を及ぼしてきた空母艦載機は、在日米軍再編に伴い2005(平成17)年に国から岩国基地へ

の移駐が示されましたが、今年3月、ようやくすべての空母艦載機部隊の移駐が完了しました。

市は、この移駐により、長年にわたり苦しめられてきた空母艦載機による甚大な騒音被害の解消と市民負担の軽減を期待しています。

## 移駐後の空母艦載機の運用

7月4日、防衛省南関東防衛局の堀地徹局長が市を訪れ、大和市長に対し、移駐後の空母艦載機の運用などに関して次のとおり説明がありました。

- 空母艦載機は訓練や給油などのため厚木基地に飛来することがある
- 空母艦載機の着陸訓練(FCLP: Field Carrier Landing Practice)は

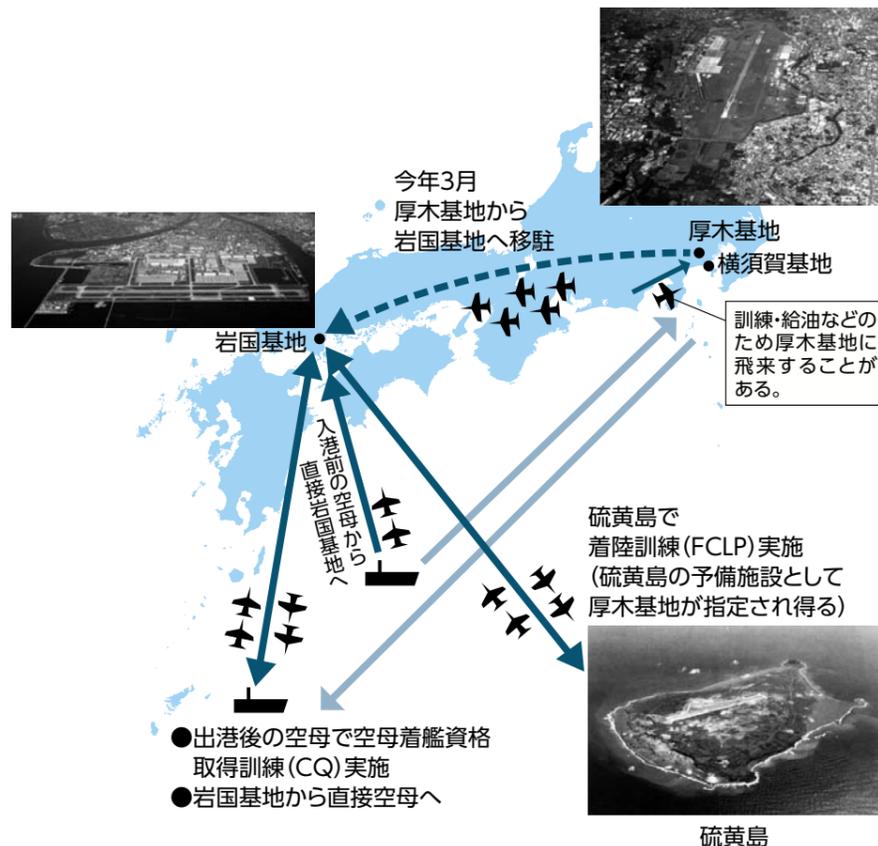
恒常的訓練施設が確保されるまでの間、硫黄島で実施され、空母艦載機は岩国基地と硫黄島を直接往復する

- 硫黄島での空母艦載機の着陸訓練実施にあたり、厚木基地は予備施設として指定され得る
- 空母着艦資格取得訓練(CQ: Carrier Qualification)は基本的に九州沖洋上の空母で実施する
- 空母が入出港する際、通常、空母艦載機は空母と岩国基地を直接往復する

## 移駐後の騒音状況について

空母艦載機が移駐した今年3月以降においても、市が実施している航空機騒音測定では、依然として基地近隣の住宅地で100デシベル以上の航空

## 移駐後の空母艦載機の運用に関する国の説明(イメージ)



## 基地に起因する今後の課題

厚木基地は引き続き航空基地として市に所在し、市民は基地に起因するさまざまな負担を強いられます。市民に甚大な騒音被害をもたらす空母艦載機の着陸訓練(FCLP)については、今後も硫黄島の予備施設として指定される厚木基地で実施される可能性ががあります。

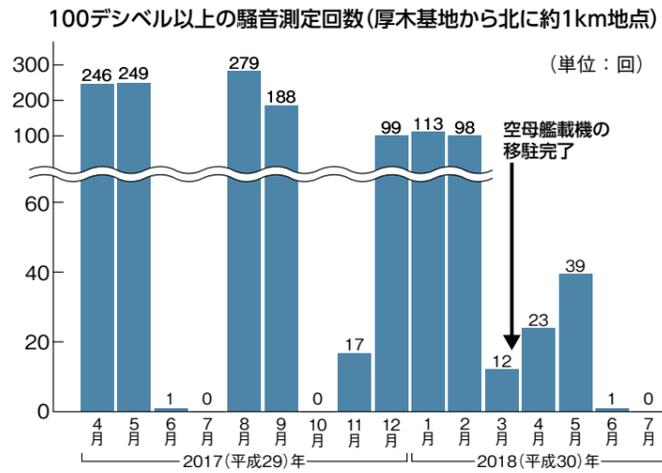
また、国が実施する住宅防音工事の助成事業についても、基地周辺の騒音状況に即した適切な対応を、国に対し求めていく必要があります。こうした航空機騒音だけではなく、事故への不安や航空法で課された建築物の高さ制限による街づくりへの支障など、基地の所在による諸課題がなくなるわけではありません。

市は、今後も厚木基地に起因するさまざまな課題の解決と市民負担の軽減に向けた取り組みを進めていきます。

6 〇〇市役所基地対策課基地対策担当 〇〇 (260)5310 FAX (260)5331

## 本市の騒音問題などと空母艦載機の移駐完了に至るまでの主な経過

1955(昭和30)年頃	厚木基地で米軍のジェット機配備が開始
1964(昭和39)年 9月	館野鉄工所墜落事故。厚木基地を離陸した空母艦載機F-8Cが大和市上草柳の館野鉄工所に墜落
1973(昭和48)年 10月	米空母ミッドウエーが横須賀入港。空母艦載機が厚木基地へ飛来
1977(昭和52)年 9月	横浜市緑区荏田町墜落事故。厚木基地を離陸した空母艦載機RF-4Bが横浜市荏田町(当時)に墜落
1982(昭和57)年 2月~	空母艦載機によるNLPを厚木基地で実施
1988(昭和63)年 8月~	市がNLPの硫黄島全面移転への取り組みを強化
1993(平成5)年 4月	硫黄島代替訓練施設を米側に全面提供。NLPのほとんどが硫黄島で実施されるようになるが、一部を引き続き厚木基地で実施
2005(平成17)年 10月	在日米軍再編に伴い国から空母艦載機の移駐が示される
2006(平成18)年 5月	「再編実施のための日米のロードマップ」で空母艦載機が2014年までに岩国基地に移駐すると示される
2013(平成25)年 1月	国が空母艦載機の移駐は2017年頃になると説明。市が移駐実現への取り組みを強化
2017(平成29)年 8月~	空母艦載機E-2Dの部隊が岩国基地に飛来し、空母艦載機の移駐が開始
2018(平成30)年 3月	空母艦載機F/A-18の2部隊が岩国基地に飛来し、すべての空母艦載機部隊の移駐が完了



## 海上自衛隊厚木航空基地の安全対策を視察

市民・議会・行政の代表者で構成される大和市委策協議会会長(大木哲大和市長)では、1962(昭和37)年の発足以来、厚木基地に起因する諸問題の解決に向けた取り組みを実施しています。昨年来、全国で航空機事故などが立て続けに発生したことから、4月27日、海上自衛隊厚木航空基地の安全対策について視察しました。厚木基地では、金嶋浩司第四航空群司令から航空機の安全対策や実際の機体の整備・点検作業などの説明がありました。本協議



航空機の安全対策を確認する大和市委策協議会

会では海上自衛隊厚木航空基地における安全対策への取り組みを確認することができ、同時に航空機の安全確保の徹底を求めました。本協議会では、今後も諸問題の解決に向けた取り組みを進めていきます。

## 大和市委策協議会